

# 経営比較分析表

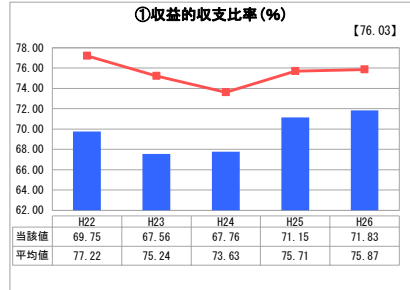
岐阜県 美濃市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	22.73	2,430

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
22,017	117.01	188.16
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
4,985	7.20	692.36

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成26年度全国平均

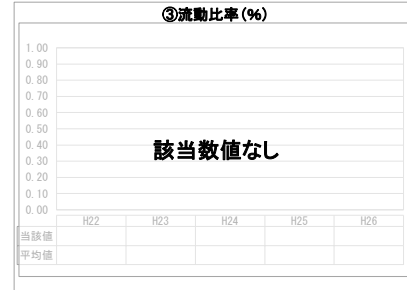
## 1. 経営の健全性・効率性



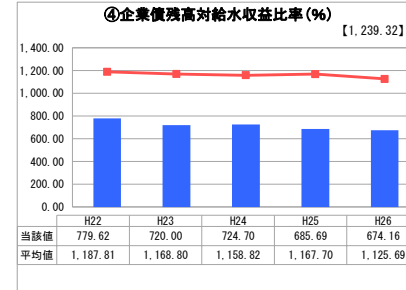
「単年度の収支」



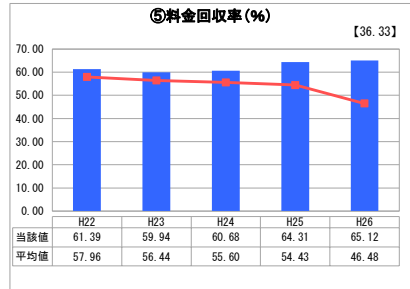
「累積欠損」



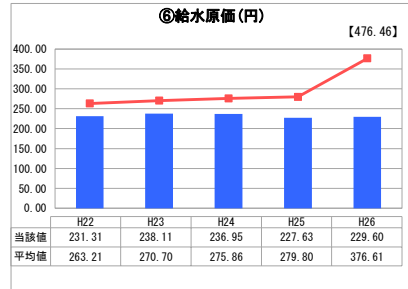
「支払能力」



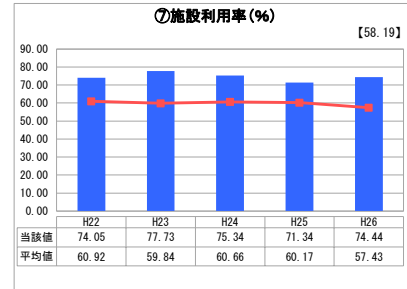
「債務残高」



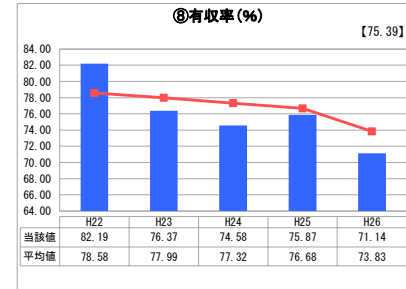
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

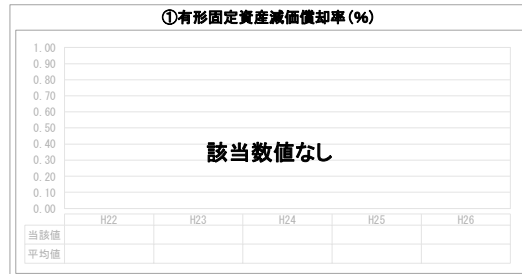


「施設の効率性」

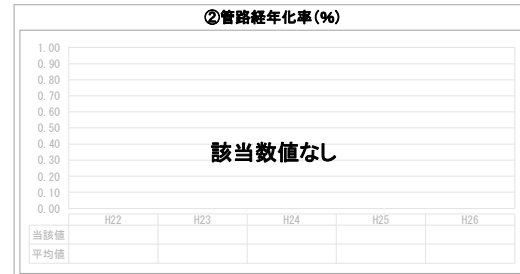


「供給した配水量の効率性」

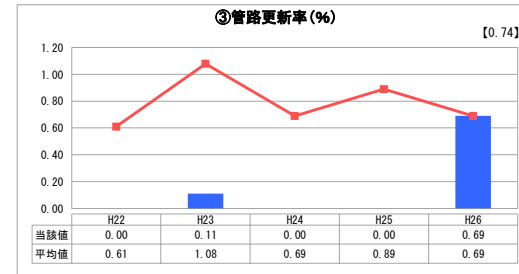
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率  
単年度収支は赤字であり経営は低迷しています。ただし、平成23年以降には比率が上昇していることから一定の経営改善の効果が見られます。今後も適切な点検・維持管理によるコスト削減に努め、健全経営に向けた取り組みを継続して実施していきます。

②企業債残高対給水収益比率  
負債に頼ることなく適切な投資規模で更新しています。

⑤料金回収率  
給水収益以外の繰出金で料金不足を補填しているため、料金改定など料金収入の確保が必要です。

⑥給水原価  
豊富な原水を確認できることから給水にかかる費用は安定的に低く抑えられています。

⑦施設利用率  
施設は需要に見合う適切な規模であり、稼働率は高い状態で推移しています。

⑧有収率  
施設の稼働率は高いですが、漏水等により各年の収益にはばらつきがあります。漏水調査を毎年実施することで収益低下を未然に防ぐよう努めています。

### 2. 老朽化の状況について

③管路更新率  
収益が上げられないため、毎年の管路更新が困難な状態にあります。老朽化に追いつかないため、早い段階で計画的に管路を更新していく必要があります。

## 全体総括

安全でおいしい水の供給、安定した給水の確保、経営の健全化を目指し、美濃市水道ビジョンに基づき平成29年度より水道事業と経営を統合します。美濃市全体の人口減少が予想されるなか、これまで以上に有収率及び収納率の向上に努め、健全な水道経営を行う必要があります。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。